

2026年度

【4月入学】

【9月入学】

南山大学大学院 入学試験要項

社会科学研究科

経済学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

経営学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

総合政策学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

- 一般入学試験
- 社会人入学審査
- 他大学オープン推薦入学審査（経済学専攻・博士前期課程）

目 次

■ 建学の理念	1
■ 3つのポリシー	1

■ 入学試験日程【2026年4月入学】	2
■ 一般入学試験【2026年4月入学】	2
1. 募集人員	2
2. 出願資格	3
3. 試験科目および日時	4
4. 出願書類	6
5. 出願書類についての注意事項	6
6. 出願書類記入上の注意	7
7. その他	8
■ 社会人入学審査【2026年4月入学】	9
1. 趣旨	9
2. 募集人員	9
3. 出願資格	9
4. 選考方法および日時	12
5. 出願書類	13
6. 出願書類についての注意事項	14
7. 出願書類記入上の注意	14
8. その他	15
■ 他大学オープン推薦入学審査（経済学専攻・博士前期課程）【2026年4月入学】	16
1. 趣旨	16
2. 募集人員	16
3. 出願資格	16
4. 選考方法および日時	17
5. 出願書類	17
6. 出願書類についての注意事項	17
7. 出願書類記入上の注意	18
8. その他	18

4
月
入
学

■ 入学試験日程【2026年9月入学】	19
■ 一般入学試験【2026年9月入学】	19
1. 募集人員	19
2. 出願資格	20
3. 試験科目および日時	21
4. 出願書類	23
5. 出願書類についての注意事項	23
6. 出願書類記入上の注意	24
7. その他	25

9
月
入
学

■ 社会人入学審査【2026年9月入学】	26
1. 趣旨	26
2. 募集人員	26
3. 出願資格	26
4. 選考方法および日時	29
5. 出願書類	30
6. 出願書類についての注意事項	31
7. 出願書類記入上の注意	31
8. その他	32
■ 他大学オープン推薦入学審査（経済学専攻・博士前期課程）【2026年9月入学】	33
1. 趣旨	33
2. 募集人員	33
3. 出願資格	33
4. 選考方法および日時	33
5. 出願書類	34
6. 出願書類についての注意事項	34
7. 出願書類記入上の注意	34
8. その他	35
■ 共通事項【2026年4月・2026年9月入学】	36
1. 入学検定料	36
2. 出願方法（郵送に限ります）	36
3. 受験票の受け取り	36
4. 試験場	36
5. 試験当日の注意事項	36
6. 筆記試験について	36
7. 口述試問について	37
8. 合格発表	37
9. 入学手続	37
10. 入学試験に関する個人情報開示	38
11. 南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度	39
12. 【修士・博士前期・専門職学位課程】日本学生支援機構奨学金授業料後払い制度	39
13. 日本語を第一言語としない方の日本語能力の目安	39
14. 入学試験参考図書リスト	39
南山大学構内図・南山大学アクセスマップ	

■入試に関する情報は、南山大学大学院Webページでご確認ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/>

不測の事態により、この要項に記したことに変更が生じる場合や、追加でお知らせする場合は、全てこのページに掲載します。適宜ページをご確認いただきますよう、お願ひいたします。

■個人情報の取り扱いについて

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。

上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することができます。

個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。

あらかじめご了承ください。

■ 建学の理念

【建学の理念】

本学は「キリスト教世界観に基づく学校教育」を建学の理念とし、その建学の理念に具体的な方向性を与えるために「人間の尊厳のために (Hominis Dignitati) 」という教育モットーを掲げています。

【目的】

本学大学院は大学学部における教育の基礎の上に、高度にして専門的な学術の理論および応用を研究し、その深奥を究めると共に、キリスト教世界観に立ち、人間の尊厳を自覚した社会人として、文化の進展と人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的としています。

したがって本学は、専門的研究に従事するために必要な素養を持ち、さらにその研究成果を人間の尊厳を尊重しつつ社会生活と人間性の向上に応用できる人材を受け入れることを目指しています。

■ 3つのポリシー

本学の教育モットーである「人間の尊厳のために」をもとに、大学院の各研究科・専攻でディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を設けています。この3つのポリシーについては以下のWebページをご参照ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/hoshin/policy.html>

■ 入学試験日程【2026年4月入学】

夏季試験合格者および春季試験合格者とも入学時期は2026年4月です。

合格者のうち、2026年3月卒業見込者または修了見込者については内定とします。

	出願期間および入学検定料振込期間	試験日	合格発表
夏季	2025年6月6日(金)～6月16日(月) 【消印有効】	2025年7月12日(土)	2025年7月17日(木) 13:00
春季	博士前期課程 2026年1月5日(月)～1月15日(木) 【消印有効】 博士後期課程 2026年1月5日(月)～1月21日(水) 【消印有効】	2026年2月21日(土)	2026年3月5日(木) 13:00

■ 一般入学試験【2026年4月入学】

1. 募集人員（一般入学試験）

経済学専攻（博士前期課程） 4名

社会人入学審査（3名）、他大学オーブン推薦入学審査（若干名）、推薦入学審査・飛び級入学審査[南山大学在学生対象]（若干名）、他専攻推薦入学審査[南山大学大学院社会科学研究科生対象]（若干名）、国内在住外国人入学審査（若干名）、国外在住者入学審査（若干名）および南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）の募集人員を含む。

経済学専攻（博士後期課程） 3名

社会人入学審査（若干名）、国外在住者入学審査（若干名）および南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）の募集人員を含む。

経営学専攻（博士前期課程） 7名

社会人入学審査（若干名）、推薦入学審査・飛び級入学審査[南山大学在学生対象]（若干名）、他専攻推薦入学審査[南山大学大学院社会科学研究科生対象]（若干名）、国外在住者入学審査（若干名）および南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）の募集人員を含む。

経営学専攻（博士後期課程） 3名

社会人入学審査（若干名）、国外在住者入学審査（若干名）および南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）の募集人員を含む。

総合政策学専攻（博士前期課程） 7名

社会人入学審査（若干名）、推薦入学審査・飛び級入学審査[南山大学在学生対象]（若干名）、他専攻推薦入学審査[南山大学大学院社会科学研究科生対象]（若干名）、国外在住者入学審査（若干名）および南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）の募集人員を含む。

総合政策学専攻（博士後期課程） 3名

社会人入学審査（若干名）、国外在住者入学審査（若干名）および南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）の募集人員を含む。

2. 出願資格（一般入学試験）

次のいずれかに該当する者または2026年3月末までに該当見込みの者とする。ただし、外国籍の者が春季試験に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

博士前期課程

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院社会科学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者で、かつ2026年3月末までに22歳に達している者

[注] 出願資格(9)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する人は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙I）を請求して、夏季に出願の場合は2025年5月14日（水）<消印有効>までに、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）<消印有効>までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

[備考] 優れた研究業績のある者については、修業年限を1年および1年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

博士後期課程

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院社会科学研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、かつ2026年3月末までに24歳に達している者

[注] 出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者が該当します。「個別の入学資格審査」を希望する人は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙I）を請求して、夏季に出願の場合は2025年5月14日（水）<消印有効>までに、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）<消印有効>までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

[備考] ① 経済学専攻（博士後期課程）および総合政策学専攻（博士後期課程）の志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。
② 優れた研究業績のある者については、修業年限を1年、1年半、2年および2年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

3. 試験科目および日時（一般入学試験）

博士前期課程

専攻	試験日	時間	試験科目	配点	備考
経済学	【夏季】 2025年7月12日(土)	10：00 ～11：30	専攻科目の基礎に関する筆記試験	100点	次の3科目の中から1科目を出願時に選択 1. 理論・計量 [この場合、3つの問題群 (Ⓐマイクロ経済学、Ⓑマクロ経済学、Ⓒ計量経済学・経済統計論) のうち2つを選択] 2. 歴史・思想 [この場合、2つの問題群 (Ⓓ日本経済史、Ⓔ経済学史・経済思想史) のうち1つを選択] 3. 政策 [この場合、2つの問題群 (Ⓕ租税法研究、Ⓖ経済社会学) のうち1つを選択]
		12：00 ～13：30	外国語「英語」(*1)	100点	辞書持ち込み可（電子辞書不可）
	【春季】 2026年2月21日(土)	15：00～	口述試問	100点	提出された書類は口述試問の参考資料とする
経営学	【夏季】 2025年7月12日(土)	10：00 ～11：30	論文	100点	次の科目の中から1科目を出願時に選択 経営管理論 労務管理論 マーケティング論 財務管理論 財務会計論 管理会計論 経済学 数学・統計学
		13：00 ～14：30	英語	100点	次の科目の中から1科目を出願時に選択 経営管理論 労務管理論 マーケティング論 財務管理論 会計学 辞書持ち込み可（電子辞書不可）
	【春季】 2026年2月21日(土)	15：00～	口述試問	100点	提出書類の内容、志望理由および経営学の基礎知識について
総合政策学	【夏季】 2025年7月12日(土)	10：00 ～11：30	専門	100点	志望する専門領域（出願時に選択）に関する筆記試験 国際政策 公共政策 環境政策 のいずれか1つ
		13：00 ～14：30	外国語	100点	英語または日本語の読解力に関する筆記試験 日本語を第一言語とする志願者：英語を選択 *英語の辞書を貸与する 日本語を第一言語としない志願者(*2)：日本語を選択
	【春季】 2026年2月21日(土)	15：00～	口述試問	100点	専門的知識に関する質問を含む

(*1) 「英語」：日本語を第一言語としない志願者は、「日本語」で受験することができます。

(*2) 学歴によっては、英語を受験するよう指示することがあります。

※ 各科目の入学試験参考図書リストが社会科学研究科事務室にあるので、希望者は請求してください。

博士後期課程

専攻	試験日	時間	試験科目	配点	備考
経済学	【夏季】 2025年7月12日(土)	12:00 ~13:30	外国語「英語」(*1)	100点	辞書持ち込み可（電子辞書不可）
	【春季】 2026年2月21日(土)	15:00~	口述試問	100点	提出された書類は口述試問の参考資料とする
経営学	【夏季】 2025年7月12日(土)	10:00 ~12:00	論文	各100点 合計200点	次の科目の中から専門に研究しようとする領域に最も近い1科目を含む計2科目を出願時に選択 組織論 財務論 会計学 マーケティング論 経済学 経営管理論 管理科学
		13:00 ~14:30	英文誌解	各50点 合計100点	次の科目の中から専門に研究しようとする領域に最も近い1科目を含む計2科目を出願時に選択 組織論 財務論 会計学 マーケティング論 経済学 経営管理論 管理科学 *辞書使用不可
		15:00~	口述試問	200点	提出書類の内容、志望理由および経営学の基礎知識について
総合政策学	【夏季】 2025年7月12日(土)	10:00 ~11:30	英語	100点	志望する専門領域（出願時に選択）に関する筆記試験 国際政策 公共政策 環境政策 のいずれか1つ
		13:00~	口述試問	100点	修士論文（またはその計画書）および今後の研究計画に関する内容

(*1) 「英語」：日本語を第一言語としない志願者は、「日本語」で受験することができます。

4. 出願書類（一般入学試験）※所定用紙（PDF、Word）は本学Webページよりダウンロード可能です。

		経済学専攻	経営学専攻	総合政策学専攻
1	入学志願票	所定用紙①	所定用紙①	所定用紙①
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦4cm×横3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること	所定用紙②	所定用紙②	所定用紙②
3	<博士前期課程志願者> 出身大学等の卒業証明書または卒業見込証明書 出身大学等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の学部・大学院を卒業・修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。 <博士後期課程志願者> 修士の学位取得証明書または取得見込証明書 出身大学院（修士課程・博士前期課程）等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の大学院を修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。			
4	入学志願者調書	所定用紙③	所定用紙③	所定用紙③
5	志望理由書	—	所定用紙④	所定用紙④
6	研究計画書 3部(コピー可)	所定用紙⑤	—	所定用紙⑤
7	指導教授（教員）の所見（厳封のもの）	所定用紙⑥	所定用紙⑥	所定用紙⑥※
8	<博士後期課程志願者> 修士論文、現在の研究内容についての研究計画書、または取り組んだ研究についての報告書（コピー可）			
9	<博士後期課程志願者> 南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書	所定用紙⑦	所定用紙⑦	所定用紙⑦
10	宛名シール（宛名明記）			
11	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便料金分の切手貼付）			
12	入学検定料（30,000円）振込領収書 ・ATM利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑧	所定用紙⑧	所定用紙⑧
13	留学費支払能力に関する証明書 【日本国籍以外の方のみ（定住者・永住者を除く）】 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑨	所定用紙⑨	所定用紙⑨
14	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。			

※博士後期課程志願者で本学大学院社会科学研究科総合政策学専攻（博士前期課程）を修了見込みの者は不要

（－：提出不要）

5. 出願書類についての注意事項（一般入学試験）

- (1) 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。
個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。あらかじめご了承ください。
- (2) 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- (3) 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。提出書類で原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を受けた後、提出してください。
- (4) 「個別の入学資格審査」で「可」とされた場合には、出願書類3の提出は不要です。ただし、審査通知書のコピーを同封してください。

6. 出願書類記入上の注意（一般入学試験）

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学Webページからダウンロードすることもできます。

(1) 入学志願票（所定用紙①）

- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・住所は、出願から入学手続きまでの期間の連絡先（受験票および合否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。
- ・海外在住者は必ず日本国内の連絡先（例えば親戚・知人の住所）とし「〇〇方」を忘れずに記入してください。

(2) 入学志願者調書（所定用紙③）

経済学専攻（博士前期課程）

- ・試験科目は、3つの科目のうち1つを選択し、問題群の中から指定の通り記入してください。
- ・受験外国语は、記入しないでください。（ただし、日本語を第一言語としない志願者で、日本語で受験する場合は「日本語」に○をつけること。）

経済学専攻（博士後期課程）

- ・試験科目は、記入しないでください。
- ・受験外国语は、記入しないでください（ただし、日本語を第一言語としない志願者で、日本語で受験する場合は「日本語」に○をつけること。）。
- ・出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。

経営学専攻（博士前期課程）

以下の表に従い記入してください。

論文	英語
論文の科目のうち1科目を記入	英語の科目のうち1科目を記入

経営学専攻（博士後期課程）

以下の表に従い記入してください。

論文	英文読解
論文の科目のうち2科目を記入	英文読解の科目のうち2科目を記入

総合政策学専攻（博士前期課程）

- ・専門領域は、志望するいずれか一つの専門領域を○で囲んでください。
- ・外国语受験科目は、日本語を第一言語とする志願者は「英語」、日本語を第一言語としない志願者は「日本語」を○で囲んでください。

総合政策学専攻（博士後期課程）

- ・専門領域は、志望するいずれか一つの専門領域を○で囲んでください。
- ・外国语受験科目は、記入しないでください。
- ・出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。

(3) 研究計画書（所定用紙⑤）

以下の通り作成し、原本と写し2部の計3部を、他の出願書類とともに提出してください。

ワープロでA4サイズに作成。用紙が不足する場合は、コピーしてください。

専攻	課程	研究計画書の内容
経済学	博士前期	本専攻への志望動機、卒業論文（または修士論文）の題目および要旨、大学院における研究計画および大学院修了後の計画を4,000字程度でまとめる。
	博士後期	本専攻への志望動機、修士論文の題目および要旨、大学院における研究計画および大学院修了後の計画を4,000字程度でまとめる。
総合政策学	博士前期	研究に関するこれまでの準備状況、今後の研究課題および博士前期課程2年間の研究計画を2,000字程度でまとめる。
	博士後期	研究に関するこれまでの準備状況、今後の研究課題および博士後期課程3年間の研究計画を4,000字程度でまとめる。

(4) 指導教授（教員）の所見（所定用紙⑥）

経済学専攻、経営学専攻

指導教授（もしくはそれに類する立場の教員、志願者をよく知る教員など）に直接記入してもらってください。

総合政策学専攻（博士前期課程）

- ・志望するいずれか一つの専門領域を○で囲んでください。
- ・指導教授（もしくはそれに類する立場の教員、志願者をよく知る教員など）に直接記入してもらってください。

総合政策学専攻（博士後期課程）

- ・志望するいずれか一つの専門領域を○で囲んでください。
- ・指導教授（もしくはそれに類する立場の教員、志願者をよく知る教員など）に直接記入してもらってください。
ただし、本学大学院社会科学研究科総合政策学専攻（博士前期課程）を修了見込みの者は不要です。

7. その他（一般入学試験）

全専攻共通

講義は、18：30 以降の時間帯および土・日曜日、または集中講義として開講することもあります。

詳細については社会科学研究科事務室にお問い合わせください。

⇒他の項目について、P. 36 以降の共通事項を参照してください。

■社会人入学審査【2026年4月入学】

1. 趣旨（社会人入学審査）

(1) 経済学専攻

経済学専攻博士前期課程では、高い分析能力や専門的知識を有する高度職業人をめざす人や仕事能力の向上を通じてキャリアアップをねらう人、職業会計人をめざす人、博士後期課程に進学し将来研究職につくことを希望している人等を受け入れて、経済学の各領域における専門的な知識と研究・応用能力の教育をおこなっています。

この趣旨に沿って、すでに社会で活躍している学問的向上心を持った社会人に対しては、通常の2年で課程を修了するコース以外に、3年から6年の在学によって、仕事と研究を両立しやすい長期在学コース、あるいは特定の業務について十分な知識や研究能力があり1年間で修士論文を作成できる人のための1年コースが設置されています。

(2) 経営学専攻

経営学専攻では、すでに企業などで活躍しながら、経営学を専門的かつ体系的に修めることにより、実社会で培った多くの経験を理論的に体系づけようとする社会人を広く受け入れ、激化する国際競争化の中で有効な企業経営を可能ならしめる知識、技術、発想を兼ね備えた高度専門職業人を養成します。そのため、社会人入学審査は、社会での実務経験を踏まえ、書類審査と口述試問のみの審査としています。

(3) 総合政策学専攻

総合政策学専攻では、すでに公共団体や企業などで活躍している社会人を広く受け入れ、国際ビジネス、国際協力、国際交流といった場面でリーダーシップを發揮できる人材、地方公共団体や企業等で高度な政策立案を担える高度専門職業人を育成します。そのため、社会人入学審査は、社会での実務経験を踏まえ書類審査と口述試問のみの審査としています。

2. 募集人員（社会人入学審査）

経済学専攻（博士前期課程） 3名

「課程専修コース（2年）」、「長期在学コース（3～6年）」、「社会人1年コース（1年）」

経済学専攻（博士後期課程） 若干名

経営学専攻（博士前期課程） 若干名

経営学専攻（博士後期課程） 若干名

総合政策学専攻（博士前期課程） 若干名

総合政策学専攻（博士後期課程） 若干名

3. 出願資格（社会人入学審査）

博士前期課程

次のいずれかに該当する者または2026年3月末までに該当見込みの者で、かつ、各専攻の示す要件を満たす者。ただし、外国籍の者が春季審査に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者によ

る評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者

(9) 本学大学院社会科学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者

[注] 出願資格(9)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」(所定用紙I)を請求して、夏季に出願の場合は2025年5月14日(水)<消印有効>までに、春季に出願の場合は2025年11月5日(水)<消印有効>までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書(巻封のもの)を必ず同封してください。

[備考]① 経済学専攻および総合政策学専攻の志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。

② 優れた研究業績のある者については、修業年限を1年および1年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

各専攻の出願要件

専 攻	出 願 要 件
経 濟 学	課程専修コース、長期在学コース 2年以上の就業経験を有し、2026年3月末までに25歳に達している者
	社会人1年コース 入学時に3年以上の継続した就業経験を有し、専攻分野に関連する論文(社内報等のレポートを含み、公刊・未公刊は問わない)がある者
経 営 学	2026年3月末までに2年以上の実務経験を有する者
総合政策学	2026年3月末までに2年以上の実務経験を有する者

博士後期課程

経済学専攻

次のいずれかに該当する者または2026年3月末までに該当見込みの者で、かつ、2026年3月末までに2年以上の実務経験を有する者とする。ただし、外国籍の者が春季審査に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院社会科学研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、2026年3月末までに24歳に達している者

[注] 出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者が該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」(所定用紙I)を請求して、夏季に出願の場合は2025年5月14日(水)<消印有効>までに、春季に出願の場合は2025年11月5日(水)<消印有効>までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書(巻封のもの)を必ず同封してください。

[備考]① 出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。

② 優れた研究業績のある者については、修業年限を1年、1年半、2年および2年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

経営学専攻

次の(1)～(7)のいずれかの項目に該当する者または2026年3月末までに該当見込みの者で、かつ、2026年3月末までに2年以上の実務経験を有する者とする。ただし、外国籍の者が春季審査に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有する者として当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 既に博士の学位を持っている者
- (6) 文部科学大臣が指定した者
- (7) 本学大学院社会科学研究科において個別の入学審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力・経験を有すると認めた者で、2026年3月末までに24歳に達している者

[注] 出願資格(7)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者が該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙I）を請求して、夏季に出願の場合は2025年5月14日（水）＜消印有効＞までに、春季に出願の場合は2025年1月5日（水）＜消印有効＞までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

[備考] 優れた研究業績のある者については、修業年限を1年、1年半、2年および2年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

総合政策学専攻

次のいずれかに該当する者または2026年3月末までに該当見込みの者で、かつ、2026年3月末までに2年以上の実務経験を有する者とする。ただし、外国籍の者が春季審査に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院社会科学研究科において個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、2026年3月末までに24歳に達している者

[注] 出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者が該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙I）を請求して、夏季に出願の場合は2025年5月14日（水）＜消印有効＞までに、春季に出願の場合は2025年1月5日（水）＜消印有効＞までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

[備考] ① 出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。
② 優れた研究業績のある者については、修業年限を1年、1年半、2年および2年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

4. 選考方法および日時（社会人入学審査）

博士前期課程

専攻	審査日	時間	試験科目	配点	備考
経済学	【夏季】 2025年7月12日（土）	10：00 ～11：30	小論文	100点	テーマは経済に関する時事問題
	【春季】 2026年2月21日（土）	13：00～	口述試問	100点	提出された書類を参考に、志望動機、勉学意欲、就業経験を中心とした口述試問を行う さらに、社会人1年コースは提出された論文の審査を行う
経営学	【夏季】 2025年7月12日（土）	—	書類審査	100点	
	【春季】 2026年2月21日（土）	13：00～	口述試問	100点	研究計画書をはじめとする提出書類の内容、志望理由および経営学の基礎知識について
総合政策学	【夏季】 2025年7月12日（土）	—	研究計画書	50点	
	【春季】 2026年2月21日（土）	—	書類審査	50点	
		13：00～	口述試問	100点	専門的知識に関する質問を含む

博士後期課程

専攻	審査日	時間	試験科目	配点	備考
経済学	【夏季】 2025年7月12日（土）	15：00～	口述試問	100点	提出論文および研究計画書に関する内容 ※提出された書類は口述試問の参考資料とする
	【春季】 2026年2月21日（土）				
経営学	【夏季】 2025年7月12日（土）	—	書類審査	100点	
	【春季】 2026年2月21日（土）	14：00～	口述試問	100点	提出論文および研究計画書に関する内容 (日本語または英語)
総合政策学	【夏季】 2025年7月12日（土）	—	研究計画書	50点	
	【春季】 2026年2月21日（土）	—	書類審査	50点	
		13：00～	口述試問	100点	修士論文（またはその計画書）および今後の研究計画に関する内容

5. 出願書類（社会人入学審査）※所定用紙（PDF、Word）は本学Webページよりダウンロード可能です。

博士前期課程

(1) 経済学専攻		課程専修コース	長期在学コース	社会人1年コース
1	入学志願票	所定用紙①	所定用紙①	所定用紙①
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦4cm×横3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②	所定用紙②	所定用紙②
3	出身大学等の卒業証明書 出身大学等の成績証明書（巻封のもの） ・複数の学部・大学院を卒業・修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。			
4	入学志願者調書	所定用紙③	所定用紙③	所定用紙③
5	研究計画書 3部(コピー可)	所定用紙⑤	所定用紙⑤	所定用紙⑤
6	宛名シール（宛名明記）			
7	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便料金分の切手貼付）			
8	入学検定料（30,000円）振込領収書 ・ATM利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑧	所定用紙⑧	所定用紙⑧
9	専攻分野に関連する「論文」 ・専攻分野に関連する単著の「論文」（社内報等のレポートを含み、公刊・未公刊は問わない）およびその要旨を各3部提出してください。	—	—	
10	留学費支払能力に関する証明書【日本国籍以外の方のみ（定住者・永住者を除く）】 ・最低預貯金残高・初年度学生納入金相当額	所定用紙⑨	所定用紙⑨	所定用紙⑨
11	雇用主の所見書	—	—	所定用紙⑩
12	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。			

(ー：提出不要)

(2) 経営学専攻、総合政策学専攻

1	入学志願票	所定用紙①
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦4cm×横3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること	所定用紙②
3	出身大学等の卒業証明書 出身大学等の成績証明書（巻封のもの） ・複数の学部・大学院を卒業・修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。	
4	入学志願者調書	所定用紙③
5	志望理由書	所定用紙④
6	研究計画書 3部(コピー可)	所定用紙⑤
7	宛名シール（宛名明記）	
8	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便料金分の切手貼付）	
9	入学検定料（30,000円）振込領収書 ・ATM利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑧
10	留学費支払能力に関する証明書【日本国籍以外の方のみ（定住者・永住者を除く）】 ・最低預貯金残高・初年度学生納入金相当額	所定用紙⑨
11	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。	
12	各種資格証明書（参考資料） 証明書のコピーを同封してください。	所定用紙⑪

博士後期課程		経済学専攻	経営学専攻	総合政策学専攻
1	入学志願票	所定用紙①	所定用紙①	所定用紙①
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦4cm×横3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②	所定用紙②	所定用紙②
3	修士の学位取得証明書または取得見込証明書 出身大学院(修士課程)の成績証明書（厳封のもの） ・複数の大学院を修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。			
4	入学志願者調書	所定用紙③	所定用紙③	所定用紙③
5	志望理由書	—	所定用紙④	所定用紙④
6	提出論文 3部(コピー可) ・修士論文、または、博士論文・プロジェクト研究レポート等修士論文に代わるもの ・修士論文、現在の研究内容に関する計画書、または取り組んだ研究についての報告書・論文 3部(コピー可)	—	—	—
7	研究計画書 3部(コピー可)	所定用紙⑤	所定用紙⑤	所定用紙⑤
8	南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書	所定用紙⑦	所定用紙⑦	所定用紙⑦
9	宛名シール（宛名明記）			
10	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便料金分の切手貼付）			
11	入学検定料(30,000円)振込領収書 ・ATM利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑧	所定用紙⑧	所定用紙⑧
12	留学費支払能力に関する証明書【日本国籍以外の方のみ（定住者・永住者を除く）】 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑨	所定用紙⑨	所定用紙⑨
13	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。			
14	各種資格証明書（参考資料） 証明書のコピーを同封してください。	—	所定用紙⑪	所定用紙⑪

(ー：提出不要)

6. 出願書類についての注意事項（社会人入学審査）

- (1) 出願にあたってお知らせいたいたい氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいたいたい個人情報の全部または一部を提供することがあります。
個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。あらかじめご了承ください。
- (2) 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- (3) 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。
提出書類で原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を受けた後、提出してください。
- (4) 「個別の入学資格審査」で「可」とされた場合には、出願書類3の提出は不要です。ただし、審査通知書のコピーを同封してください。

7. 出願書類記入上の注意（社会人入学審査）

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学Webページからダウンロードすることもできます。

(1) 入学志願票（所定用紙①）

- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・住所は、出願から入学手続までの期間の連絡先（受験票および合否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。
- ・海外在住者は必ず日本国内の連絡先（例えば親戚・知人の住所）とし「〇〇方」を忘れずに記入してください。

(2) 入学志願者調書 (所定用紙③)

経済学専攻

- ・試験科目は、記入しないでください。
- ・受験外国語は、記入しないでください。
- ・出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。

経営学専攻

- ・論文は、記入しないでください。
- ・英語・英文読解は、記入しないでください。

総合政策学専攻

- ・専門領域は、志望するいずれか一つの専門領域を○で囲んでください。
- ・外国语受験科目は、記入しないでください。
- ・出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。

(3) 研究計画書 (所定用紙⑤)

以下の通り作成し、原本と写し2部の計3部を、他の出願書類とともに提出してください。

ワープロでA4サイズに作成。用紙が不足する場合は、コピーしてください。

専 攻	課 程	研究計画書の内容
経 濟 学	博士前期	本専攻への志望動機、卒業論文（または修士論文）の題目および要旨、大学院における研究計画および大学院修了後の計画を4,000字程度でまとめる。
	博士後期	本専攻への志望動機、修士論文の題目および要旨や、これまでの勉学や実務経験との関連、大学院における研究計画および大学院修了後の計画を4,000字程度でまとめる。
経 営 学	博士前期	本専攻への志望動機、実務経験との関連、研究計画および大学院修了後の計画を6,000字程度でまとめる。
	博士後期	本専攻への志望動機、実務経験との関連、研究計画および大学院修了後の計画を8,000字程度でまとめる。
総合政策学	博士前期	研究に関するこれまでの準備状況、今後の研究課題および博士前期課程2年間の研究計画を4,000字程度でまとめる。
	博士後期	研究に関するこれまでの準備状況、今後の研究課題および博士後期課程3年間の研究計画を4,000字程度でまとめる。

(4) 雇用主の所見書 (所定用紙⑩) (博士前期課程 経済学専攻 社会人1年コースのみ)

継続して3年以上の就業経験があり、ある特定の実務に関して、豊富な経験や知識を有していることを確認できる内容を含む雇用主の所見書を提出してください。

8. その他 (社会人入学審査)

全専攻共通

講義は、18:30以降の時間帯および土・日曜日、または集中講義として開講することもあります。
詳細については社会科学研究科事務室にお問い合わせください。

経済学専攻

博士前期課程

- (1) 「社会人1年コース」に志願しても、「課程専修コース」（標準修業年限2年）への入学しか認められないこともあります。また、勉学の進捗状況により、「社会人1年コース」から「課程専修コース」への変更も認めます。
- (2) 「課程専修コース」に入学する社会人で3年間での課程修了を希望する入学者のための奨学金制度があります。
詳細については社会科学研究科事務室にお問い合わせください。

⇒ その他の項目について、P.36以降の共通事項を参照してください。

■他大学オープン推薦入学審査（経済学専攻・博士前期課程）

【2026年4月入学】

1. 趣旨（他大学オープン推薦入学審査）

経済学専攻では、高い分析能力や専門的知識を有する高度職業人をめざす人、仕事能力の向上を通じてキャリアアップをねらう人、職業会計人をめざす人、博士後期課程に進学し将来研究職につくことを希望している人等を受け入れて、経済学の各領域における専門的知識と研究・応用能力の教育をおこなっています。

この趣旨に沿って本学のすべての学科における学業成績優秀者を対象にして推薦入学制度を設けていますが、この門戸を他大学および他研究科の成績優秀者に対しても開放し、自己推薦という形で優秀な人材を幅広く募ります。グローバル化とともに多様化の進む現代社会において、異なる学部教育を受けてきた学生を交えて、同じ経済学のテーマに関して多角的な視点から討議し研究交流することは、幅広い考察力や分析力の向上に繋がり、広い視野を持った社会人の養成に貢献できると考えます。

他大学オープン推薦入学審査では、在籍学部や在籍研究科を問わず、経済学の勉学を強く希望し、明確な研究目的を持つ成績優秀な人で、論文作成能力やプレゼンテーション能力に秀でた学生を求めます。

2. 募集人員（他大学オープン推薦入学審査）

経済学専攻（博士前期課程）若干名

3. 出願資格（他大学オープン推薦入学審査）

【学部在籍者】

次の条件をすべて満たす者

- (1) 本学大学院社会科学研究科経済学専攻における勉学を強く希望し、合格した場合には必ず入学手続を行う者
- (2) 2026年3月末までに大学卒業見込の者
- (3) 大学に在籍4年目で、出願時までに単位を取得した授業科目数の2分の1以上において成績が優またはA以上である者

【研究科在籍者】

次の条件をすべて満たす者

- (1) 本学大学院社会科学研究科経済学専攻における勉学を強く希望し、合格した場合には必ず入学手続を行う者
- (2) 2026年3月末までに大学院博士前期（修士）課程修了見込の者
- (3) 大学院に在籍2年目で、出願時までに単位を取得した授業科目数の2分の1以上において成績が優またはA以上である者

[備考]① 出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。

② 優れた研究業績のある者については、修業年限を1年および1年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。

詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

4. 選考方法および日時（他大学オープン推薦入学審査）

試験日	時間	試験科目	配点	備考
【夏季】 2025年7月12日(土)	10:00～11:30	小論文	100点	テーマは経済に関する時事問題
【春季】 2026年2月21日(土)	13:00～ (30分／人)	口述試問	100点	志望動機や自己PRに関するプレゼンテーション(10分)を含む

・提出された書類は口述試問の参考資料とします。

5. 出願書類 ※所定用紙(PDF、Word)は本学Webページよりダウンロード可能です。

1	入学志願票	所定用紙①
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真(縦4cm×横3cm)裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること	所定用紙②
3	学部在籍者 出身大学の卒業見込証明書 出身大学等の成績証明書(巻封のもの) ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。	
4	研究科在籍者 修士の学位取得見込証明書 出身大学院(修士課程または博士前期課程)の成績証明書(巻封のもの) ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。	
5	入学志願者調書	所定用紙③
6	研究計画書 3部(コピー可)	所定用紙⑤
7	宛名シール(宛名明記)	
8	受験票返送用封筒(宛名明記、定形郵便速達料金分の切手貼付)	
9	入学検定料(30,000円)振込領収書 ・ATM利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑧
10	留学費支払能力に関する証明書【日本国籍以外の方のみ(定住者・永住者を除く)】 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑨
11	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。	

6. 出願書類についての注意事項（他大学オープン推薦入学審査）

- (1) 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「委託業者」)において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。
個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。
あらかじめご了承ください。
- (2) 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- (3) 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。
提出書類で原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの(certified copy)であることの証明を受けた後、提出してください。

7. 出願書類記入上の注意（他大学オープン推薦入学審査）

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学Webページからダウンロードすることもできます。

(1) 入学志願票（所定用紙①）

- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・住所は、出願から入学手続きまでの期間の連絡先（受験票および合否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。
- ・海外在住者は必ず日本国内の連絡先（例えば親戚・知人の住所）とし「〇〇方」を忘れずに記入してください。

(2) 入学志願者調書（所定用紙③）

- ・試験科目は、記入しないでください。
- ・受験外国語は、記入しないでください。
- ・出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。
- ・取得科目数を、記入する際には、合否（またはPF）のみで判定された科目および認定された科目を計算に加えないでください。
優またはA以上の成績とは、不合格を除いて合格が四段階以上で成績評価されている場合には上位二段階の成績を、合格が三段階で評価されている場合には最上位のみの成績を意味します。

(3) 研究計画書（所定用紙⑤）

（注）用紙が不足する場合は、コピーしてください。

本専攻への志望動機、卒業論文（または修士論文）の題目および要旨、大学院における研究計画および大学院修了後の計画を4,000字程度（ワープロ：A4）でまとめ、原本と写し2部の計3部を、他の出願書類とともに提出してください。

8. その他（他大学オープン推薦入学審査）

講義は、18:30以降の時間帯および土・日曜日、または集中講義として開講することもあります。

詳細については社会科学研究科事務室にお問い合わせください。

⇒その他の項目について、P. 36以降の共通事項を参照してください。

■入学試験日程 【2026年9月入学】

入学時期は2026年9月です。

合格者のうち、2026年9月卒業見込者または修了見込者については内定とします。

	出願期間および入学検定料振込期間	試験日	合格発表
春季	博士前期課程 2026年1月5日(月)～1月15日(木) 【消印有効】	2026年2月21日(土)	2026年3月5日(木) 13:00
	博士後期課程 2026年1月5日(月)～1月21日(水) 【消印有効】		
夏季	2026年6月5日(金)～6月15日(月) 【消印有効】	2026年7月11日(土)	2026年7月16日(木) 13:00

■一般入学試験【2026年9月入学】

1. 募集人員

経済学専攻（博士前期課程）若干名

社会人入学審査（若干名）、他大学オープン推薦入学審査（若干名）、推薦入学審査・飛び級入学審査[南山大学在学生対象（若干名）、他専攻推薦入学審査[南山大学大学院社会科学研究科生対象]（若干名）、国内在住外国人入学審査（若干名）、国外在住者入学審査（若干名）および南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）の募集人員を含む。

経済学専攻（博士後期課程）若干名

社会人入学審査（若干名）、国外在住者入学審査（若干名）および南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）の募集人員を含む。

経営学専攻（博士前期課程）若干名

社会人入学審査（若干名）、推薦入学審査・飛び級入学審査[南山大学在学生対象]（若干名）、他専攻推薦入学審査[南山大学大学院社会科学研究科生対象]（若干名）、国外在住者入学審査（若干名）および南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）の募集人員を含む。

経営学専攻（博士後期課程）若干名

社会人入学審査（若干名）、国外在住者入学審査（若干名）および南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）の募集人員を含む。

総合政策学専攻（博士前期課程）若干名

社会人入学審査（若干名）、推薦入学審査・飛び級入学審査[南山大学在学生対象]（若干名）、他専攻推薦入学審査[南山大学大学院社会科学研究科生対象]（若干名）、国外在住者入学審査（若干名）および南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）の募集人員を含む。

総合政策学専攻（博士後期課程）若干名

社会人入学審査（若干名）、国外在住者入学審査（若干名）および南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）の募集人員を含む。

2. 出願資格（一般入学試験）

次のいずれかに該当する者または2026年9月までに該当見込みの者とする。ただし、外国籍の者が夏季試験に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

博士前期課程

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院社会科学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者で、2026年8月末までに22歳に達している者

[注] 出願資格(9)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙I）を請求して、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）<消印有効>までに、夏季に出願の場合は2026年5月13日（水）<消印有効>までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（巻封のもの）を必ず同封してください。

[備考]優れた研究業績のある者については、修業年限を1年および1年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

博士後期課程

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院社会科学研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、2026年8月末までに24歳に達している者

[注] 出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者が該当します。「個別の入学資格審査」を希望する人は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙I）を請求して、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）<消印有効>までに、夏季に出願の場合は2026年5月13日（水）<消印有効>までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（巻封のもの）を必ず同封してください。

[備考]優れた研究業績のある者については、修業年限を1年、1年半、2年および2年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

3. 試験科目および日時（一般入学試験）

博士前期課程

専攻	試験日	時間	試験科目	配点	備考
経済学	【春季】 2026年2月21日(土)	10：00 ～11：30	専攻科目の基礎に関する筆記試験	100点	<p>次の3科目の中から1科目を出願時に選択</p> <p>1. 理論・計量 [この場合、3つの問題群 (⑦ミクロ経済学、①マクロ経済学、⑦計量経済学・経済統計論) のうち2つを選択]</p> <p>3. 歴史・思想 [この場合、2つの問題群 (②日本経済史、④経済学史・経済思想史) のうち1つを選択]</p> <p>3. 政策 [この場合、2つの問題群 (⑦租税法研究、⑤経済社会学) のうち1つを選択]</p>
		12：00 ～13：30	外国語「英語」(*1)	100点	辞書持ち込み可（電子辞書不可）
	【夏季】 2026年7月11日(土)	15：00～	口述試問	100点	提出された書類は口述試問の参考資料とする
経営学	【春季】 2026年2月21日(土)	10：00 ～11：30	論文	100点	<p>次の科目の中から1科目を出願時に選択</p> <p>経営管理論 労務管理論 マーケティング論 財務管理論 財務会計論 管理会計論 経済学 数学・統計学</p>
		13：00 ～14：30	英語	100点	<p>次の科目の中から1科目を出願時に選択</p> <p>経営管理論 労務管理論 マーケティング論 財務管理論 会計学</p> <p>辞書持ち込み可（電子辞書不可）</p>
		15：00～	口述試問	100点	提出書類の内容、志望理由および経営学の基礎知識について
総合政策学	【春季】 2026年2月21日(土)	10：00 ～11：30	専門	100点	<p>志望する専門領域（出願時に選択）に関する筆記試験</p> <p>国際政策 公共政策 環境政策 のいずれか1つ</p>
		13：00 ～14：30	外国語	100点	<p>英語または日本語の読解力に関する筆記試験</p> <p>日本語を第一言語とする志願者：英語を選択 *英語の辞書を貸与する</p> <p>日本語を第一言語としない志願者(*2)：日本語を選択</p>
		15：00～	口述試問	100点	専門的知識に関する質問を含む

(*)1 「英語」：日本語を第一言語としない志願者は、「日本語」で受験することができます。

(*)2 学歴によっては、英語を受験するよう指示することがあります。

※ 各科目の入学試験参考図書リストが社会科学研究科事務室にあるので、希望者は請求してください。

博士後期課程

専攻	試験日	時間	試験科目	配点	備考
経済学	【春季】 2026年2月21日(土)	12:00 ～13:30	外国語「英語」 (*1)	100点	辞書持ち込み可（電子辞書不可）
	【夏季】 2026年7月11日(土)	15:00～	口述試問	100点	提出された書類は口述試問の参考資料とする
経営学	【春季】 2026年2月21日(土)	10:00 ～12:00	論文	各100点 合計200点	次の科目の中から専門に研究しようとする領域に 最も近い1科目を含む計2科目を出願時に選択 組織論 財務論 会計学 マーケティング論 経済学 経営管理論 管理科学
		13:00 ～14:30	英文読解	各50点 合計100点	次の科目の中から専門に研究しようとする領域に 最も近い1科目を含む計2科目を出願時に選択 組織論 財務論 会計学 マーケティング論 経済学 経営管理論 管理科学 *辞書使用不可
		15:00～	口述試問	200点	提出書類の内容、志望理由および経営学の基礎知識について
総合政策学	【春季】 2026年2月21日(土)	10:00 ～11:30	英語	100点	志望する専門領域（出願時に選択）に関する筆記試験 国際政策 公共政策 環境政策 のいずれか1つ
	【夏季】 2026年7月11日(土)	13:00～	口述試問	100点	修士論文（またはその計画書）および今後の研究計画に関する内容

(*1) 「英語」：日本語を第一言語としない志願者は、「日本語」で受験することができます。

4. 出願書類（一般入学試験）※所定用紙（PDF、Word）は本学Webページよりダウンロード可能です。

		経済学専攻	経営学専攻	総合政策学専攻
1	入学志願票	所定用紙①	所定用紙①	所定用紙①
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦4cm×横3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②	所定用紙②	所定用紙②
3	〈博士前期課程志願者〉 出身大学等の卒業証明書または卒業見込証明書 出身大学等の成績証明書（巻封のもの） ・複数の学部・大学院を卒業・修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。 〈博士後期課程志願者〉 修士の学位取得証明書または取得見込証明書 出身大学院（修士課程・博士前期課程）等の成績証明書（巻封のもの） ・複数の大学院を修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。			
4	入学志願者調書	所定用紙③	所定用紙③	所定用紙③
5	志望理由書	—	所定用紙④	所定用紙④
6	研究計画書 3部(コピー可)	所定用紙⑤	—	所定用紙⑤
7	指導教授（教員）の所見（巻封のもの）	所定用紙⑥	所定用紙⑥	所定用紙⑥※
8	〈博士後期課程志願者〉 修士論文、現在の研究内容についての研究計画書、または取り組んだ研究についての報告書（コピー可）			
9	〈博士後期課程志願者〉 南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書	所定用紙⑦	所定用紙⑦	所定用紙⑦
10	宛名シール（宛名明記）			
11	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便速達料金分の切手貼付）			
12	入学検定料（30,000円）振込領収書 ・ATM利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑧	所定用紙⑧	所定用紙⑧
13	留学費支払能力に関する証明書 【日本国籍以外の方のみ（定住者・永住者を除く）】 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑨	所定用紙⑨	所定用紙⑨
14	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。			

※博士後期課程志願者で本学大学院社会科学研究科総合政策学専攻（博士前期課程）を修了見込みの者は不要

（－：提出不要）

5. 出願書類についての注意事項（一般入学試験）

- (1) 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。
個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。
あらかじめご了承ください。
- (2) 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- (3) 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。提出書類で原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を受けた後、提出してください。
- (4) 「個別の入学資格審査」で「可」とされた場合には、出願書類3の提出は不要です。ただし、審査通知書のコピーを同封してください。

6. 出願書類記入上の注意（一般入学試験）

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学Webページからダウンロードすることもできます。

(1) 入学志願票（所定用紙①）

- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・住所は、出願から入学手続きまでの期間の連絡先（受験票および合否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。
- ・海外在住者は必ず日本国内の連絡先（例えば親戚・知人の住所）とし「〇〇方」を忘れずに記入してください。

(2) 入学志願者調書（所定用紙③）

経済学専攻（博士前期課程）

- ・試験科目は、3つの科目のうち1つを選択し、問題群の中から指定の通り記入してください。
- ・受験外国语は、記入しないでください。（ただし、日本語を第一言語としない志願者で、日本語で受験する場合は「日本語」に○をつけること。）

経済学専攻（博士後期課程）

- ・試験科目は、記入しないでください。
- ・受験外国语は、記入しないでください。（ただし、日本語を第一言語としない志願者で、日本語で受験する場合は「日本語」に○をつけること。）
- ・出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。

経営学専攻（博士前期課程）

以下の表に従い記入してください。

論文	英語
論文の科目のうち1科目を記入	英語の科目のうち1科目を記入

経営学専攻（博士後期課程）

以下の表に従い記入してください。

論文	英文読解
論文の科目のうち2科目を記入	英文読解の科目のうち2科目を記入

総合政策学専攻（博士前期課程）

- ・専門領域 志望するいずれか一つの専門領域を○で囲んでください。
- ・外国语受験科目 日本語を第一言語とする志願者は「英語」、日本語を第一言語としない志願者は「日本語」を○で囲んでください。

総合政策学専攻（博士後期課程）

- ・専門領域 志望するいずれか一つの専門領域を○で囲んでください。
- ・外国语受験科目は、記入しないでください。
- ・出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。

(3) 研究計画書（所定用紙⑤）

以下の通り作成し、原本と写し2部の計3部を、他の出願書類とともに提出してください。

ワープロでA4サイズに作成。用紙が不足する場合は、コピーしてください。

専攻	課程	研究計画書の内容
経済学	博士前期	本専攻への志望動機、卒業論文（または修士論文）の題目および要旨、大学院における研究計画および大学院修了後の計画を4,000字程度でまとめる。
	博士後期	本専攻への志望動機、修士論文の題目および要旨、大学院における研究計画および大学院修了後の計画を4,000字程度でまとめる。
総合政策学	博士前期	研究に関するこれまでの準備状況、今後の研究課題および博士前期課程2年間の研究計画を2,000字程度でまとめる。
	博士後期	研究に関するこれまでの準備状況、今後の研究課題および博士後期課程3年間の研究計画を4,000字程度でまとめる。

(4) 指導教授（教員）の所見（所定用紙⑥）

経済学専攻、経営学専攻

指導教授（もしくはそれに類する立場の教員、志願者をよく知る教員など）に直接記入してもらってください。

総合政策学専攻（博士前期課程）

- ・志望するいずれか一つの専門領域を○で囲んでください。
- ・指導教授（もしくはそれに類する立場の教員、志願者をよく知る教員など）に直接記入してもらってください。

総合政策学専攻（博士後期課程）

- ・志望するいずれか一つの専門領域を○で囲んでください。
- ・指導教授（もしくはそれに類する立場の教員、志願者をよく知る教員など）に直接記入してもらってください。
ただし、本学大学院社会科学研究科総合政策学専攻（博士前期課程）を修了見込みの者は不要です。

7. その他（一般入学試験）

全専攻共通

講義は、18：30以降の時間帯および土・日曜日、または集中講義として開講することもあります。

詳細については社会科学研究科事務室にお問い合わせください。

⇒ その他の項目について、P. 36以降の共通事項を参照してください。

■社会人入学審査【2026年9月入学】

1. 趣旨（社会人入学審査）

(1) 経済学専攻

経済学専攻博士前期課程では、高い分析能力や専門的知識を有する高度職業人をめざす人や仕事能力の向上を通じてキャリアアップをねらう人、職業会計人をめざす人、博士後期課程に進学し将来研究職につくことを希望している人等を受け入れて、経済学の各領域における専門的な知識と研究・応用能力の教育をおこなっています。

この趣旨に沿って、すでに社会で活躍している学問的向上心を持った社会人に対しては、通常の2年で課程を修了するコース以外に、3年から6年の在学によって、仕事と研究を両立しやすい長期在学コース、あるいは特定の業務について十分な知識や研究能力があり1年間で修士論文を作成できる人のための1年コースが設置されています。

(2) 経営学専攻

経営学専攻では、すでに企業などで活躍しながら、経営学を専門的かつ体系的に修めることにより、実社会で培った多くの経験を理論的に体系づけようとする社会人を広く受け入れ、激化する国際競争化の中で有効な企業経営を可能ならしめる知識、技術、発想を兼ね備えた高度専門職業人を養成します。そのため、社会人入学審査は、社会での実務経験を踏まえ、書類審査と口述試問のみの審査としています。

(3) 総合政策学専攻

総合政策学専攻では、すでに公共団体や企業などで活躍している社会人を広く受け入れ、国際ビジネス、国際協力、国際交流といった場面でリーダーシップを発揮できる人材、地方公共団体や企業等で高度な政策立案を担える高度専門職業人を育成します。そのため、社会人入学審査は、社会での実務経験を踏まえ書類審査と口述試問のみの審査としています。

2. 募集人員（社会人入学審査）

経済学専攻（博士前期課程）若干名

「課程専修コース（2年）」、「長期在学コース（3～6年）」、「社会人1年コース（1年）」

経済学専攻（博士後期課程）若干名

経営学専攻（博士前期課程）若干名

経営学専攻（博士後期課程）若干名

総合政策学専攻（博士前期課程）若干名

総合政策学専攻（博士後期課程）若干名

3. 出願資格（社会人入学審査）

博士前期課程

次のいずれかに該当する者または2026年9月までに該当見込みの者で、かつ、各専攻の示す要件を満たす者。ただし、外国籍の者が夏季審査に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課

程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者

(9) 本学大学院社会科学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者

[注] 出願資格(9)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙I）を請求して、春季に受験の場合は2025年11月5日（水）<消印有効>までに、夏季に受験の場合は2026年5月13日（水）<消印有効>までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

[備考]① 経済学専攻および総合政策学専攻の志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。
② 優れた研究業績のある者については、修業年限を1年および1年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研修科事務室にお問合せください。

各専攻の出願要件

専 攻	出 願 要 件
経 濟 学	<p>課程専修コース、長期在学コース 2年以上の就業経験を有し、2026年8月末までに25歳に達している者 社会人1年コース 入学時に3年以上の継続した就業経験を有し、専攻分野に関連する論文（社内報等のレポートを含み、公刊・未公刊は問わない）がある者</p>
経 営 学	2026年8月末までに2年以上の実務経験を有する者
総合政策学	2026年8月末までに2年以上の実務経験を有する者

博士後期課程

経済学専攻

次のいずれかに該当する者または2026年9月までに該当見込みの者で、かつ、2026年8月末までに2年以上の実務経験を有する者とする。ただし、外国籍の者が夏季審査に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院社会科学研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、2026年8月末までに24歳に達している者

[注] 出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者が該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙I）を請求して、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）<消印有効>までに、夏季に出願の場合は2026年5月13日（水）<消印有効>までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

[備考]① 出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。
② 優れた研究業績のある者については、修業年限を1年、1年半、2年および2年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

経営学専攻

次の(1)～(7)のいずれかの項目に該当する者または2026年9月までに該当見込みの者で、かつ、2026年8月末までに2年以上の実務経験を有する者とする。ただし、外国籍の者が夏季審査に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有する者として当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 既に博士の学位を持っている者
- (6) 文部科学大臣が指定した者
- (7) 本学大学院社会科学研究科において個別の入学審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力・経験を有すると認めた者で、2026年8月末までに24歳に達している者

[注] 出願資格(7)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者が該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙I）を請求して、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）＜消印有効＞までに、夏季に出願の場合は2026年5月13日（水）＜消印有効＞までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

[備考] 優れた研究業績のある者については、修業年限を1年、1年半、2年および2年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

総合政策学専攻

次のいずれかに該当する者または2026年9月までに該当見込みの者で、かつ、2026年8月末までに2年以上の実務経験を有する者とする。ただし、外国籍の者が夏季審査に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院社会科学研究科において個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、2026年8月末までに24歳に達している者

[注] 出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙I）を請求して、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）＜消印有効＞までに、夏季に出願の場合は2026年5月13日（水）＜消印有効＞までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

[備考] ① 出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。
② 優れた研究業績のある者については、修業年限を1年、1年半、2年および2年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

4. 選考方法および日時（社会人入学審査）

博士前期課程

専攻	審査日	時間	試験科目	配点	備考
経済学	【春季】 2026年2月21日(土)	10:00 ～11:30	小論文	100点	テーマは経済に関する時事問題
	【夏季】 2026年7月11日(土)	13:00～	口述試問	100点	提出された書類を参考に、志望動機、勉学意欲、就業経験を中心とした口述試問を行う さらに、社会人1年コースは提出された論文の審査を行う
経営学	【春季】 2026年2月21日(土)	—	書類審査	100点	
	【夏季】 2026年7月11日(土)	13:00～	口述試問	100点	研究計画書をはじめとする提出書類の内容、志望理由および経営学の基礎知識について
総合政策学	【春季】 2026年2月21日(土)	—	研究計画書	50点	
	【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	50点	
		13:00～	口述試問	100点	専門的知識に関する質問を含む

博士後期課程

専攻	審査日	時間	試験科目	配点	備考
経済学	【春季】 2026年2月21日(土)	15:00～	口述試問	100点	提出論文および研究計画書に関する内容 ※提出された書類は口述試問の参考資料とする
	【夏季】 2026年7月11日(土)				
経営学	【春季】 2026年2月21日(土)	—	書類審査	100点	
	【夏季】 2026年7月11日(土)	14:00～	口述試問	100点	提出論文および研究計画書に関する内容（日本語または英語）
総合政策学	【春季】 2026年2月21日(土)	—	研究計画書	50点	
	【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	50点	
		13:00～	口述試問	100点	修士論文（またはその計画書）および今後の研究計画に関する内容

5. 出願書類（社会人入学審査）※所定用紙（PDF、Word）は本学Webページよりダウンロード可能です。

博士前期課程

(1) 経済学専攻		課程専修コース	長期在学コース	社会人1年コース
1	入学志願票	所定用紙①	所定用紙①	所定用紙①
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦4cm×横3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②	所定用紙②	所定用紙②
3	出身大学等の卒業証明書 出身大学等の成績証明書（巻封のもの） ・複数の学部・大学院を卒業・修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。			
4	入学志願者調書	所定用紙③	所定用紙③	所定用紙③
5	研究計画書 3部(コピー可)	所定用紙⑤	所定用紙⑤	所定用紙⑤
6	宛名シール（宛名明記）			
7	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便料金分の切手貼付）			
8	入学検定料（30,000円）振込領収書 ・ATM利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑧	所定用紙⑧	所定用紙⑧
9	専攻分野に関連する「論文」 ・専攻分野に関連する単著の「論文」（社内報等のレポートを含み、公刊・未公刊は問わない）およびその要旨を各3部提出してください。	—	—	
10	留学費支払能力に関する証明書【日本国籍以外の方のみ（定住者・永住者を除く）】 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑨	所定用紙⑨	所定用紙⑨
11	雇用主の所見書	—	—	所定用紙⑩
12	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。			

(ー：提出不要)

(2) 経営学専攻、総合政策学専攻

1	入学志願票	所定用紙①
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦4cm×横3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②
3	出身大学等の卒業証明書 出身大学等の成績証明書（巻封のもの） ・複数の学部・大学院を卒業・修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。	
4	入学志願者調書	所定用紙③
5	志望理由書	所定用紙④
6	研究計画書 3部(コピー可)	所定用紙⑤
7	宛名シール（宛名明記）	
8	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便料金分の切手貼付）	
9	入学検定料（30,000円）振込領収書 ・ATM利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑧
10	留学費支払能力に関する証明書【日本国籍以外の方のみ（定住者・永住者を除く）】 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑨
11	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。	
12	各種資格証明書（参考資料） 証明書のコピーを同封してください。	所定用紙⑪

博士後期課程		経済学専攻	経営学専攻	総合政策学専攻
1	入学志願票	所定用紙①	所定用紙①	所定用紙①
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦4cm×横3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②	所定用紙②	所定用紙②
3	修士の学位取得証明書または取得見込証明書 出身大学院(修士課程)の成績証明書(巻封のもの) ・複数の大学院を修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。			
4	入学志願者調書	所定用紙③	所定用紙③	所定用紙③
5	志望理由書	—	所定用紙④	所定用紙④
6	提出論文 3部(コピー可) ・修士論文、または、博士論文・プロジェクト研究レポート等修士論文に代わるもの ・修士論文、現在の研究内容に関する計画書、または取り組んだ研究についての報告書・論文 3部(コピー可)	—	—	—
7	研究計画書 3部(コピー可)	所定用紙⑤	所定用紙⑤	所定用紙⑤
8	南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書	所定用紙⑦	所定用紙⑦	所定用紙⑦
9	宛名シール(宛名明記)			
10	受験票返送用封筒(宛名明記、定形郵便発送料金分の切手貼付)			
11	入学検定料(30,000円)振込領収書 ・ATM利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑧	所定用紙⑧	所定用紙⑧
12	留学費支払能力に関する証明書【日本国籍以外の方のみ(定住者・永住者を除く)】 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑨	所定用紙⑨	所定用紙⑨
13	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。			
14	各種資格証明書(参考資料) 証明書のコピーを同封してください。	—	所定用紙⑪	所定用紙⑪

(ー：提出不要)

6. 出願書類についての注意事項（社会人入学審査）

- (1) 出願にあたってお知らせいたいたい氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいたいたい個人情報の全部または一部を提供することがあります。
個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。あらかじめご了承ください。
- (2) 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- (3) 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。
提出書類で原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を受けた後、提出してください。
- (4) 「個別の入学資格審査」で「可」とされた場合には、出願書類3の提出は不要です。ただし、審査通知書のコピーを同封してください。

7. 出願書類記入上の注意（社会人入学審査）

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学Webページからダウンロードすることもできます。

(1) 入学志願票(所定用紙①)

- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・住所は、出願から入学手続までの期間の連絡先（受験票および合否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。
- ・海外在住者は必ず日本国内の連絡先（例えば親戚・知人の住所）とし「〇〇方」を忘れずに記入してください。

(2) 入学志願者調書 (所定用紙③)

経済学専攻

- ・試験科目は、記入しないでください。
- ・受験外国語は、記入しないでください。
- ・出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。

経営学専攻

- ・論文は、記入しないでください。
- ・英語・英文説明は、記入しないでください。

総合政策学専攻

- ・専門領域は、志望するいずれか一つの専門領域を○で囲んでください。
- ・外国語受験科目は、記入しないでください。
- ・出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。

(3) 研究計画書 (所定用紙⑤)

以下の通り作成し、原本と写し2部の計3部を、他の出願書類とともに提出してください。

ワープロでA4サイズに作成。用紙が不足する場合は、コピーしてください。

専 攻	課 程	研究計画書の内容
経 濟 学	博士前期	本専攻への志望動機、卒業論文（または修士論文）の題目および要旨、大学院における研究計画および大学院修了後の計画を4,000字程度でまとめる。
	博士後期	本専攻への志望動機、修士論文の題目および要旨や、これまでの勉学や実務経験との関連、大学院における研究計画および大学院修了後の計画を4,000字程度でまとめる。
経 営 学	博士前期	本専攻への志望動機、実務経験との関連、研究計画および大学院修了後の計画を6,000字程度でまとめる。
	博士後期	本専攻への志望動機、実務経験との関連、研究計画および大学院修了後の計画を8,000字程度でまとめる。
総合政策学	博士前期	研究に関するこれまでの準備状況、今後の研究課題および博士前期課程2年間の研究計画を4,000字程度でまとめる。
	博士後期	研究に関するこれまでの準備状況、今後の研究課題および博士後期課程3年間の研究計画を4,000字程度でまとめる。

(4) 雇用主の所見書 (所定用紙⑩) (博士前期課程 経済学専攻 社会人1年コースのみ)

継続して3年以上の就業経験があり、ある特定の実務に関して、豊富な経験や知識を有していることを確認できる内容を含む雇用主の所見書を提出してください。

8. その他 (社会人入学審査)

全専攻共通

講義は、18:30以降の時間帯および土・日曜日、または集中講義として開講することもあります。

詳細については社会科学研究科事務室にお問い合わせください。

経済学専攻

博士前期課程

- 「社会人1年コース」に志願しても、「課程専修コース」（標準修業年限2年）への入学しか認められないこともあります。また、勉学の進捗状況により、「社会人1年コース」から「課程専修コース」への変更も認めます。
- 「課程専修コース」に入学する社会人で3年間での課程修了を希望する入学者のための奨学金制度があります。
詳細については社会科学研究科事務室にお問い合わせください。

⇒ その他の項目について、P. 36以降の共通事項を参照してください。

■他大学オープン推薦入学審査（経済学専攻・博士前期課程）

【2026年9月入学】

1. 趣旨（他大学オープン推薦入学審査）

経済学専攻では、高い分析能力や専門的知識を有する高度職業人をめざす人、仕事能力の向上を通じてキャリアアップをねらう人、職業会計人をめざす人、博士後期課程に進学し将来研究職につくことを希望している人等を受け入れて、経済学の各領域における専門的知識と研究・応用能力の教育をおこなっています。

この趣旨に沿って本学のすべての学科における学業成績優秀者を対象にして推薦入学制度を設けていますが、この門戸を他大学および他研究科の成績優秀者に対しても開放し、自己推薦という形で優秀な人材を幅広く募ります。グローバル化とともに多様化の進む現代社会において、異なる学部教育を受けてきた学生を交えて、同じ経済学のテーマに関して多角的な視点から討議し研究交流することは、幅広い考察力や分析力の向上に繋がり、広い視野を持った社会人の養成に貢献できると考えます。

他大学オープン推薦入学審査では、在籍学部や在籍研究科を問わず、経済学の勉学を強く希望し、明確な研究目的を持つ成績優秀な人で、論文作成能力やプレゼンテーション能力に秀でた学生を求めます。

2. 募集人員（他大学オープン推薦入学審査）

経済学専攻（博士前期課程）若干名

3. 出願資格（他大学オープン推薦入学審査）

【学部在籍者】

次の条件をすべて満たす者

- (1) 本学大学院社会科学研究科経済学専攻における勉学を強く希望し、合格した場合には必ず入学手続を行う者
- (2) 2026年9月までに大学卒業見込の者
- (3) 大学に在籍4年目で、出願時までに単位を取得した授業科目数の2分の1以上において成績が優またはA以上である者

【研究科在籍者】

次の条件をすべて満たす者

- (1) 本学大学院社会科学研究科経済学専攻における勉学を強く希望し、合格した場合には必ず入学手続を行う者
- (2) 2026年9月までに大学院博士前期（修士）課程修了見込の者
- (3) 大学院に在籍2年目で、出願時までに単位を取得した授業科目数の2分の1以上において成績が優またはA以上である者

[備考]① 出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。

② 優れた研究業績のある者については、修業年限を1年および1年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

4. 選考方法および日時（他大学オープン推薦入学審査）

試験日	時間	試験科目	配点	備考
【春季】 2026年2月21日(土)	10：00～11：30	小論文	100点	テーマは経済に関する時事問題
【夏季】 2026年7月11日(土)	13：00～ (30分／人)	口述試問	100点	志望動機や自己PRに関するプレゼンテーション(10分)を含む

・提出された書類は口述試問の参考資料とします。

5. 出願書類 ※所定用紙（PDF、Word）は本学Webページよりダウンロード可能です。

1	入学志願票	所定用紙①
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦4cm×横3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②
3	学部在籍者 出身大学の卒業見込証明書 出身大学等の成績証明書（巻封のもの） ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。	
4	研究科在籍者 修士の学位取得見込証明書 出身大学院（修士課程または博士前期課程）の成績証明書（巻封のもの） ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。	
5	入学志願者調書	所定用紙③
6	研究計画書 3部(コピー可)	所定用紙⑤
7	宛名シール（宛名明記）	
8	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便料金分の切手貼付）	
9	入学検定料（30,000円）振込領収書 ・ATM利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑧
10	留学費支払能力に関する証明書【日本国籍以外の方のみ（定住者・永住者を除く）】 ・最低預定金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑨
11	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。	

6. 出願書類についての注意事項（他大学オープン推薦入学審査）

- (1) 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。
個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。
あらかじめご了承ください。
- (2) 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- (3) 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。
提出書類で原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であるとの証明を受けた後、提出してください。

7. 出願書類記入上の注意（他大学オープン推薦入学審査）

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学Webページからダウンロードすることもできます。

(1) 入学志願票（所定用紙①）

- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・住所は、出願から入学手続までの期間の連絡先（受験票および合否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。
- ・海外在住者は必ず日本国内の連絡先（例えば親戚・知人の住所）とし「〇〇方」を忘れずに記入してください。

(2) 入学志願者調書 (所定用紙③)

- ・試験科目は、記入しないでください。
- ・受験外国語は、記入しないでください。
- ・出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について必ず面談を行い、入学志願者調書の教員署名欄に署名をもらってください。
- ・取得科目数を記入する際には、合否（またはPF）のみで判定された科目および認定された科目を計算に加えないでください。
優またはA以上の成績とは、不合格を除いて合格が四段階以上で成績評価されている場合には上位二段階の成績を、合格が三段階で評価されている場合には最上位のみの成績を意味します。

(3) 研究計画書 (所定用紙⑤)

(注) 用紙が不足する場合は、コピーしてください。

本専攻への志望動機、卒業論文（または修士論文）の題目および要旨、大学院における研究計画および大学院修了後の計画を4,000字程度（ワープロ：A4）でまとめ、原本と写し2部の計3部を、他の出願書類とともに送付してください。

8. その他（他大学オープン推薦入学審査）

講義は、18:30以降の時間帯および土・日曜日、または集中講義として開講することもあります。

詳細については社会科学研究科事務室にお問い合わせください。

⇒ その他の項目について、P. 36以降の共通事項を参照してください。

■共通事項 【2026年4月入学・2026年9月入学】

1. 入学検定料

30,000円

- (1) 振込期間 → P.2 (2026年4月入学)、P.19 (2026年9月入学)に記載
- (2) 下記銀行口座に「電信」扱いで振り込んでください。
- (3) 振込領収書のコピーを所定用紙⑧に貼付し、出願書類とともに提出してください。
- (4) 振入手数料は各自で負担してください。
- (5) 現金、為替等での出願は受け付けません。

送り先	三菱UFJ銀行 八事支店 普通預金
口座番号	1649646
口座名	ガク)ナンザンガクエン 学)南山学園

2. 出願方法(郵送に限ります)

- (1) 出願期間 → P.2 (2026年4月入学)、P.19 (2026年9月入学)に記載
- (2) 出願書類を市販の角型2号サイズの封筒に入れて「簡易書留速達郵便」で送付してください。
なお、封筒の表には必要事項を記入した所定のラベルを貼付してください。所定のラベルは、本学Webページよりダウンロードすることもできます。
- (3) 提出された出願書類に不備があった場合、本学からE-mail・電話等により連絡します。出願書類に不備があり、出願期間内に解消されない場合は、出願を受理できないことがあります。
- (4) 一旦提出された出願書類および入学検定料は原則として返還しません。
- (5) 身体に障りを有する志願者で、試験において受験上の特別な措置を希望する場合は、出願に先立ってできるだけ早期に本学入学センターに連絡してください。

3. 受験票の受け取り

受験票が以下の日を過ぎても未着の場合のみ、入学センターに連絡してください。

【2026年4月入学】

夏季試験(審査)	2025年7月8日(火)
春季試験(審査)	2026年2月10日(火)

【2026年9月入学】

春季試験(審査)	2026年2月10日(火)
夏季試験(審査)	2026年6月30日(火)

日本国外から出願された方には、入学志願票に記載されたメールアドレスにPDFファイルでお送りします。

4. 試験場

南山大学 名古屋市昭和区山里町18番地

5. 試験当日の注意事項

- (1) 試験会場は9:00に開場します。
- (2) 受験票を忘れたり紛失したりした場合は、係員に申し出てください。
- (3) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切っておいてください。携帯電話等の通信機能や辞書機能を持つ物を時計として使用することはできません。

6. 筆記試験について

- (1) 当日は、試験開始15分前までに所定の試験室に入室し着席してください。

- (2) 試験終了後は、監督者が解答用紙を全部回収し、確認が終わるまで席を立たないでください。
- (3) 試験開始後 20 分以上遅刻した者は、口述試問を含むその後の試験科目を受験できません。
- (4) 試験室に入室してから試験終了までは退室を認めません。
- (5) 試験室では、すべて監督者の指示に従ってください。
- (6) 試験時間中、受験票は常に机上に置いてください。

7. 口述試問について

- (1) 口述試問室・時間は当日配付の書類で指示します。
- (2) 口述試問の開始時刻から 20 分以上遅刻した者は、受験できません。

8. 合格発表

- (1) 合格発表日 → P.2 (2026年4月入学)、P.19 (2026年9月入学) に記載
- (2) 合格者の受験番号を、本学 Web ページに掲載します。 (<https://www.nanzan-u.ac.jp/>)
- (3) 合格発表当日、合否通知書を郵送します。合格発表後に発送しますので、地域によっては到着まで 2~3 日かかる場合もあります。
なお、合格者には、入学手続書類を同封します。
- (4) 郵便、電話、E-mail 等による問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続

- (1) 入学手続期間

【2026年4月入学】

手続方法		手続期間 【消印有効】	
甲方式	一括納入方法 入学手続時納入金全額	【夏季】2025年7月18日(金)~7月24日(木) 【春季】2026年3月6日(金)~3月13日(金)	
乙方式 (夏季のみ)	分割納入方法 第1次：入学金および入学手続延期手数料 第2次：入学金を除いた学生納入金	第1次 第2次	2025年7月18日(金)~7月24日(木) 2026年3月6日(金)~3月13日(金)

【2026年9月入学】

手続方法		手続期間 【消印有効】	
甲方式	一括納入方法 入学手続時納入金全額	【春季】2026年3月6日(金)~3月13日(金) 【夏季】2026年7月24日(金)~7月30日(木)	
乙方式 (春季のみ)	分割納入方法 第1次：入学金および入学手続延期手数料 第2次：入学金を除いた学生納入金	第1次 第2次	2026年3月6日(金)~3月13日(金) 2026年7月24日(金)~7月30日(木)

- (2) 所定の期間内に「授業料その他の納入金の納入」と「Web フォーム入力」「必要書類の提出」を完了する必要があります。詳細は合格者にご案内する「入学手続案内」Web ページにてご確認ください。
- (3) 所定の期間内に手続を行わなかった者は、入学資格を失います。
- (4) 在留資格認定証明書交付申請が必要な方は、入学手続が完了してからないと手続が行えませんので、ご注意ください。
- (5) 入学手続の際に必要な納入金は次のとおりです。入学手続を乙方式でされる場合は、第1次手続時に入学金の他に入学手続延期手数料 33,000 円が必要です。

[一般入学試験] [他大学オープン推薦入学審査]

[社会人入学審査 (経済学専攻「課程専修コース」、経営学専攻、総合政策学専攻)] (単位:円)

納入金	入学手続時納入金
入学金	300,000
授業料 (半期分)	287,000
施設設備費 (半期分)	52,500
合計	639,500 *1 *2

[社会人入学審査（経済学専攻「社会人1年コース」）] (単位：円)

納入金	入学手続時納入金
入学金	300,000
授業料（半期分）	430,500
施設設備費（半期分）	52,500
合計	783,000 *1 *2

*※ 社会人1年コースに入学する者の初年度授業料は、課程専修コースの1.5倍です。ただし、1年で修了しない場合の2年目の授業料は0.5倍となります。

[社会人入学審査（経済学専攻「長期在学コース」）] (単位：円)

納入金	入学手続時納入金
入学金	300,000
授業料（半期分）	189,400
施設設備費（半期分）	52,500
合計	541,900 *1 *2

*※ 長期在学コースに入学する者の初年度から3年間の授業料は課程専修コースの0.66倍で、4年目以降は1年間につき50,000円の在籍料となります。（手数料規程参照）

*1 上表以外に、同窓会関係の諸費用を必要とします。入学手続時の納入金額については、合格者にご案内する「入学手続案内」Webページにてご確認ください。

*2 日本国外から送金する場合は、上記金額に海外送金銀行取り扱い手数料として3,000円を加えた額を振り込んでください。

・本学卒業者等の合格者については、入学後、入学金相当額の奨学金が給付されます。

・外国人学生のうち、カトリック系修道会等所属学生または、私費外国人留学生と認定された場合には、授業料および施設設備費の2分の1が減免されます。

・各種減免制度の対象となる場合、入学手続時に申請書等の必要書類を提出してください。詳細は「入学手続案内」Webページをご確認ください。

・博士前期課程において、南山大学大学院学則第69条第1項により、1年で修了する者の初年度授業料は上記の1.5倍です。ただし、1年で修了しない場合は2年目の授業料は上記の0.5倍となります。

・博士後期課程において、授業料等の支援（減免）を行う制度があります。後述の「南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度」を参照してください。

・修士課程、博士前期課程、および、専門職学位課程において、日本学生支援機構による授業料後払い制度（貸与奨学金）があります。後述の「【修士・博士前期・専門職学位課程】日本学生支援機構奨学金授業料後払い制度」を参照してください。

一旦提出された書類および入学金（入学手続延期手数料を含む）は、いかなる理由があっても返還しませんのでご注意ください。

なお、入学手続後に入学を辞退されるときは、2026年4月入学の場合は2026年3月31日（火）
（必着）までに、2026年9月入学の場合は2026年9月11日（金）
（必着）までに、本人および保証人連名の文書で返還請求があった場合に限り、納入金のうち入学金（入学手続延期手数料を含む）以外の授業料、施設設備費等を返還します。詳細については、「入学手続案内」Webページにてご確認ください。

10. 入学試験に関する個人情報開示

大学院入学試験受験者に係る個人情報開示について、受験者本人から請求があつた場合に限り開示します。開示を希望する方は、次の要領でお申込みください。

(1) 申請者

受験者本人に限ります。（代理人による申請は不可）

(2) 申込方法

次の書類等を封筒に入れ、表面に「入試成績開示請求」と朱書きして、「簡易書留郵便」で本学入学センター宛に送付してください。

ア. 南山大学大学院入学試験に係る個人情報開示請求書（様式1）：本学Webページよりダウンロード

イ. 開示を希望する入学試験受験票：コピー不可。個人情報開示書とともに返送します。

ウ. 開示手数料：定額小為替500円分

- (3) 受験時と住所が異なる場合
住民票の写しを同封してください。

- (4) 書類の送付・お問い合わせ先
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地 南山大学入学センター
Phone : 052-832-3119
Fax : 052-832-3592
E-mail : ml-grad@nanzan-u.ac.jp

1 1. 南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度

博士後期課程に在学する学生を対象に、授業料等を減免し、博士の学位取得を支援することを目的とした「南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度」があります。

出願時に所定用紙「南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書」を提出した場合、入学試験合格者に対し、本奨学支援の資格の有無を審査します。奨学支援の資格有と認められた場合は、授業料等の減免を受けることができます。審査結果は、入学試験の合格通知書と合わせて通知します。

<制度の概要>

支 援 内 容 : 授業料および施設設備費の半額を減免する

支 援 期 間 : 1年間

*ただし、同様の手続を行うことにより、翌年も引き続き支援を受けることが可能（年度毎に審査有）

審 査 : 申請に基づき、所属する研究科の研究科委員会において、博士の学位取得への意志を確認すると同時に研究計画および研究業績を測り、支援（減免）の資格の有無を決定する
*審査において、出願時に提出した書類（研究計画書等）を使用

1 2. 【修士・博士前期・専門職学位課程】日本学生支援機構奨学金授業料後払い制度

修士・博士前期・専門職学位課程の学生を対象に、在学中の授業料を国が立て替え、返還は大学院修了後の所得に応じた「後払い」とする制度があります。本制度の利用者については、入学手続時に納入すべき学期分の授業料の全額または一部を猶予します。

制度の詳細や申請方法、申請期日については、学生課Webページ (<https://office.nanzan-u.ac.jp/student-services/>)をご覧いただくとともに、本制度の利用を希望される方は、お早めに学生課(052-832-3118)までお問い合わせください。

1 3. 日本語を第一言語としない方の日本語能力の目安

各専攻の授業を履修するためには、原則として以下の表程度の日本語能力が必要です。

専 攻 (課 程)	公益財団法人日本国際教育支援協会 (Japan Educational Exchanges and Services) 「日本語能力試験」	独立行政法人日本学生支援機構 (Japan Student Services Organization) 日本留学試験「日本語」
経済学専攻 (博士前期課程)	N1 (旧1級)	200点
経済学専攻 (博士後期課程)	N1 (旧1級)	200点
経営学専攻 (博士前期課程)	N1 (旧1級)	220点
経営学専攻 (博士後期課程)	N1 (旧1級)	220点
総合政策学専攻 (博士前期課程)	N1 (旧1級)	210点
総合政策学専攻 (博士後期課程)	N1 (旧1級)	210点

1 4. 入学試験参考図書リスト

博士前期課程

入学試験参考図書リストは、社会科学研究科事務室に請求してください。

南山大学 構内図



教室棟

1 A棟 ・法科学院棟 ・法曹実務教育研究センター	6 G棟 7 G3O	11 L棟: ヒルシュマイヤー記念館 ・言語学研究センター ・視覚教育センター	14 S棟 ・情報センター ・理工学研究センター ・BISTRO CEZARS
2 B棟	8 H棟 9 J棟 ・経営研究センター ・社会倫理研究所 ・アメリカ研究センター ・ラテンアメリカ研究センター ・ヨーロッパ研究センター ・アジア・太平洋研究センター ・地域研究センター図書室	12 M棟 13 R棟 ・フランテンホール ・国際センター ・外国语教育センター ・ワールドプラザ ・ジャパンプラザ ・多文化交流ラウンジ ・人類学博物館 ・礼拝室 ・南山エクステンション・カレッジ事務室	15 Q棟 ・キャリア支援課 ・ラーニング・コモンズ
3 D棟 ・人間関係研究センター ・学生交流センター ・教職センター ・保健センター (保健室／学生相談室) (大学生活支援室)	10 K棟		
4 E棟			
5 F棟			

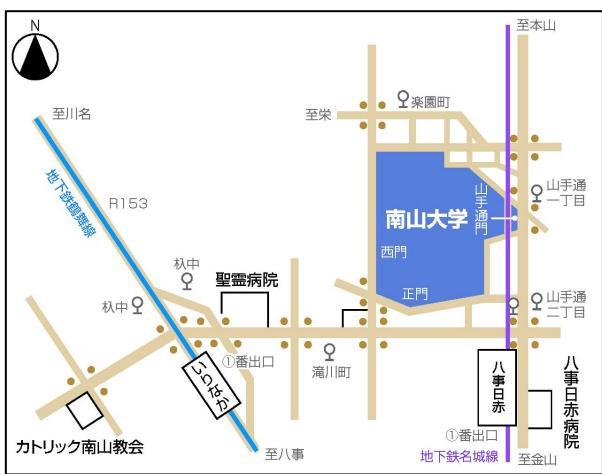
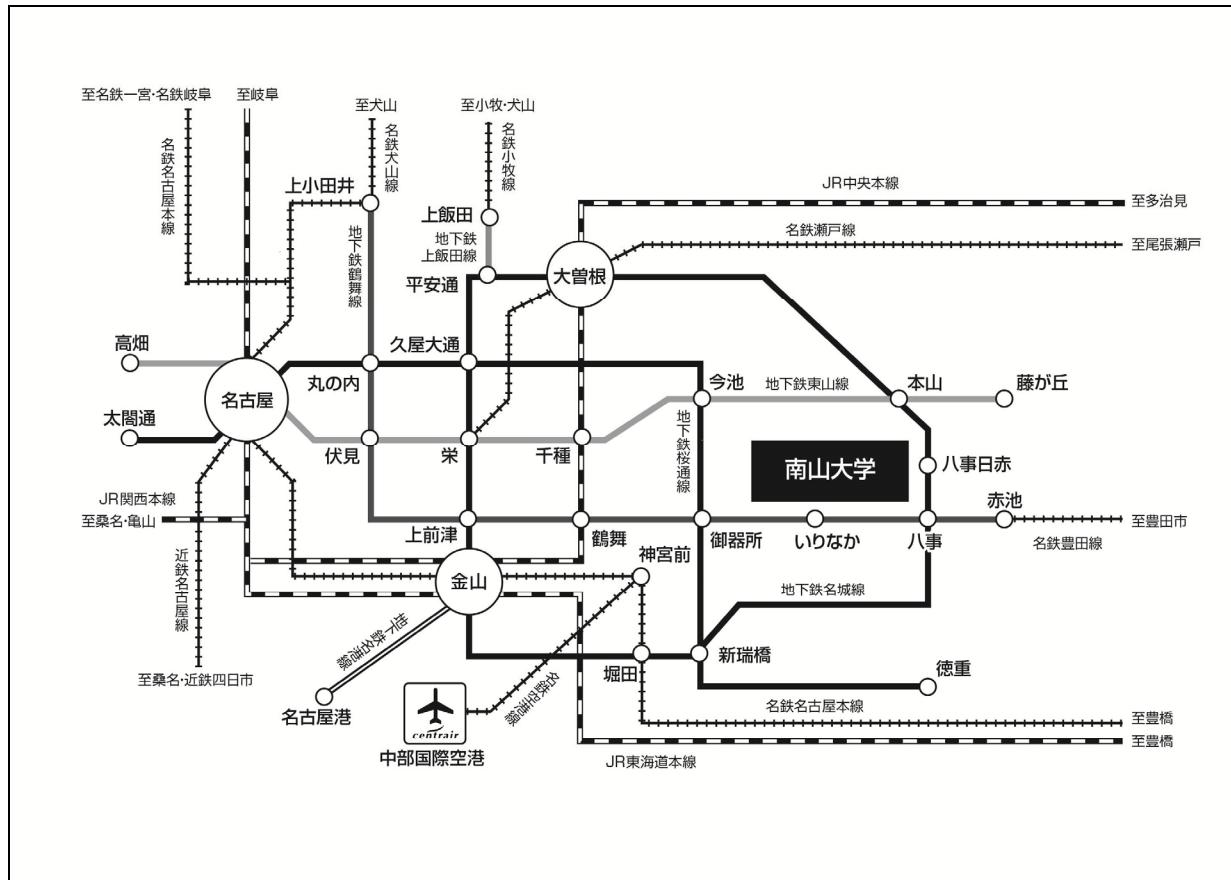
その他の施設

16 C棟 ・学生課 ・教務課 ・SWFTS MAGIC Lab	22 総合受付 23 茶室 ・方寸庵・也有の席	29 コパン: 学生会館 ・研修センター ・フォーノ ・CEZARS CAFF ・LAWSON ・咖喱日和 ・紀伊國屋書店 ・NES	31 西門受付 32 第2クラブハウス
17 N棟 ・ラーニング・コモンズ	24 南山大学ライネルス中央図書館 ・ラーニング・コモンズ	30 リアン ・リアンカフェ ・クラブハウス	33 ロゴスセンター ・キリスト教センター
18 第2研究室棟 ・ラーニング・コモンズ	25 第1研究室棟		34 南山大学名古屋交流会館
19 南山宗教文化研究所／人類学研究所	26 クラブハウス		35 南山大学ヤンセン国際寮
20 同窓会館	27 体育館		
21 本部棟 ・入学センター ・教学企画課 ・研究推進課 ・ウエルソン	28 体育センター ・体育教育センター ・メインアリーナ ・室内プール ・第3食堂		

神言会施設

36 神言神学院

南山大学 アクセスマップ





南山大学

■入試に関するお問い合わせ先

■書類送付先

南山大学入学センター

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地

E-mail ml-grad@nanzan-u.ac.jp

Phone (052) 832-3119 (直通)

■履修内容等に関するお問い合わせ先

社会科学研究科事務室

Phone (052) 832-4341 (直通)

<https://www.nanzan-u.ac.jp/>

南山大学は、ジブリパークのオフィシャルパートナーです。